

# 信州教師塾B 第1回

## 会話や対話の見える化

### ～グラフィックを使いながら～

信濃教育会との共催事業として「信州教師塾B」の1回目研修会が、10月31日（月）、上伊那教育会館講堂に27名の受講者が集い行われました。

今回のテーマは「会話や対話の見える化～グラフィックを使いながら～」。講師には、グラフィッククラブの土岐俊様、西澤智美様をお迎えしました。アイスブレイクの後、二人組でグラフィックを描き、見える化を体験しました。その後、グループでグラフィックの活用場面を話し合いました。どのグループも活発に意見が出され、和やかな雰囲気の中にも熱気あふれる研修となりました。

次回は、11月24日（木）「コミュニケーション力」をテーマに開催します。11月18日（金）まで募集期間を延長しますので、多くの先生方にご参加いただけますようお願い申し上げます。（申し込みの詳細はケルンにてご確認ください）

#### 《受講者の感想》

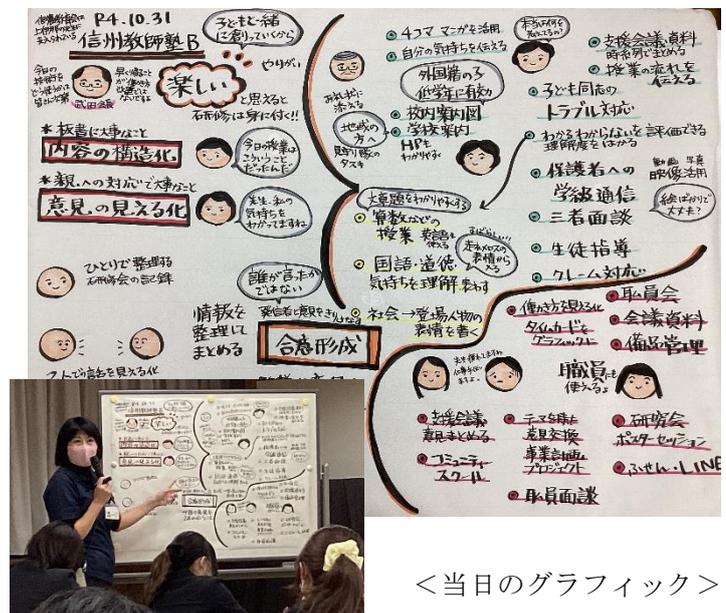
グラフィックに興味はありましたが「難しそう」「私にはムリかも」と避けていました。しかし、今日の研修を受けて「私にもできそう！」「明日からもうすぐに使いたい！」と思うことができました。

文字だけでは伝わりにくいが、見える化（グラフィック）することにより、リアルタイムに、とてもよく理解することができるということを教えていただきました。生徒だけでなく、教職員同士、保護者など、様々な場面でのグラフィックの活用の仕方が、とても勉強になりました。

グラフィックファシリテーションを体験してみて「楽しくて見栄えがいい」「発表しやすい」「自分なりに話を理解していないと記録することができないので、理解度が深まる」ことを実感できました。様々な場面で、どんどん実践していきたいです。

今日の研修を通して、構造化が大切であるということに改めて感じた。その中で、グラフィックファシリテーションを用いることで話がわかりやすくまとめられ、誰がみても共通の理解が得られることを知った。授業の中で、生徒の発言を構造化するのに実際に使ってみてみたいと思った。

#### 《研修の様子》



<当日のグラフィック>

《当日の資料 抜粋》

信州教師塾B

## 会話や対話の見える化

～グラフィックを使いながら～

講師：グラフィッククラブ

### 講座の案内

1. アイスブレイク
2. 見える化の体験①☆②
3. 「学校現場でどう使う？」
4. なぜグラフィック？
5. まとめ

### 1. アイスブレイク

～描いてみる!!! (表情編)～

あ					
い					
う					

### 2. 見える化を体験②

～話をしながら描く～

①2人ペアになります。

【1回目】

- ・お名前の五十音順で早い方書き手。もう一人は、話し手。
- ・休日にしたいことを聞き、話しの中で大きいものは大 大きく、小さい物は小さく、描きます。
- ※相手の方に確認しながら。
- ・話をしている時の表情を顔の中 に書きます。

テーマ：休日にしたいこと

### 3. 「学校現場でどう使う？」

テーマ：校内における様々なコミュニケーションの課題について

時間： 分

### 4. なぜ見える化？

(1) グラフィックを使っでの見える化

- ・思考、物事の整理
- ・会議の要約
- ・情報の整理
- ・テーマや物事に親しみを感じることができる
- ・ニュアンスを伝えやすい

## ☆活用の場面

- #### ・ひとり (自分)

自分の考え・気持ちを整理することができます。  
メモ、受講する研修会の記録など、文字だけよりも記憶に残ります。
- #### ・ふたり (生徒、先生、保護者などと)

相談に乗る時、打ち合わせ、計画を立てる時に使えます。  
相手に伝える、言いづらいこと、聞きづらいことも伝えやすくなります。  
お互いの整理にも使うことができます。
- #### ・3人以上

打ち合わせ、会議などで使うことにより、全体を見渡すことができ、認識を合わせられることで、自分と考えの違いを発見しやすくなります。  
お互いの理解を深めるための、共通言語として働きます。  
参加できなかった人にも、写真を撮って送ることで短時間で全体像を伝えることができます。